

| 2022年度 日本工学院専門学校 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|----|------|---|----|-----------|----|--|----|--|-----|----|----|---|
| 情報処理科 モバイルアプリ開発コース | | | | | | | | | | | | | | | |
| キャリアデザイン2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | | 必修 | | 種別 | | 講義 | | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 山本 純士 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | システムエンジニア | | | | | | | | |
| 担当教員紹介 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 航空券予約発券システムを運営する会社で、主に開発部門ではシステム企画や、開発プロジェクトのマネジメントを行い、営業部門では大手旅行会社や国内外の航空会社に対するシステムセールスと営業部門の管理を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的な好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的な好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職活動の手順を理解し、自分でスケジュールを立て、受験する会社を自分で選べること。自分をアピールできる履歴書が書けること。一般常識・適性・作文などの筆記試験に合格できること。社会人としての身だしなみを整えられること。個人面接・集団面接・グループディスカッションなどの面接試験に合格できること。そして何より、希望する進路に向けて自ら積極的に行動できるようになることを目標とする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業方法 | | | | | | | | | | | | | | | |
| キャリアサポートセンターからのバックアップを受けガイダンスを行い就職活動全体の流れを確認する。企業の採用担当者など外部講師を招聘し業界の生の声を聴くとともに、面接官から見た面接のアドバイスを受ける。履歴書の作成、模擬試験、服装対策のセミナー、先輩の体験談を聞き、最後に模擬面接を行う。社会人としてのマナーとルールを再確認し、主に就職するための履歴書の作成、アポイントの取り方、グループ模擬面接を実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験・課題 20% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 30% 授業時間内に行われる適性試験（SPIなど）の問題を評価する レポート 30% 授業内で作成した作文、履歴書、セミナー感想文などを評価する 成果発表 10% 授業時間内に行われるグループ討論、模擬面接などを評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する | | | | | | | | | | | | | | | |
| 履修上の注意 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。各回の終了前に数問の適性試験を解く時間を設けて問題に慣れる時間を設ける。ガイダンス及び各種セミナーの実施はスケジュールによって変更があり得る。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教科書教材 | | | | | | | | | | | | | | | |
| キャリアサポートブック（本校オリジナル） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 授業計画 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | 就職ガイダンス(1) 就職活動の流れを理解し、自分から就職活動に対して積極的に行動できる | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2回 | 就職ガイダンス(2) キャリアサポートセンターを活用することができる | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3回 | 業界セミナー(1) 業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4回 | 業界セミナー(2) 業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5回 | 業界セミナー(3) 業界人、企業人による特別講座を聴講し、社会人意識及び面接に臨む態度を身に着けることができる | | | | | | | | | | | | | | |

| 2022年度 日本工学院専門学校 | |
|--------------------|---|
| 情報処理科 モバイルアプリ開発コース | |
| キャリアデザイン2 | |
| 第6回 | 履歴書作成(1) 自己分析を行い自分オリジナルの履歴書が作成できる |
| 第7回 | 履歴書作成(2) 第三者が添削した履歴書をフィードバックし、より良い履歴書が作成できる |
| 第8回 | 履歴書完成 完成した履歴書をさらにより良いものにバージョンアップできる |
| 第9回 | 作文・小論文練習 作文・小論文を書くことができる |
| 第10回 | 就職模擬試験 一般常識試験、適性試験、作文試験に合格できる |
| 第11回 | 着こなしセミナー 就職活動を行うための身だしなみを整えることができる |
| 第12回 | 内定者体験談 先輩方の体験を今後の自分の就職活動に活かすことができる |
| 第13回 | 模擬面接(1) 個人面接で自分をアピールできる |
| 第14回 | 模擬面接(2) 集団面接で自分をアピールできる |
| 第15回 | 模擬面接(3) グループディスカッションで自分をアピールできる |